

# Scope KANSAI

## 関西経済を読む

関西の経済、経営、企業、業界などさまざまな話題・トピックスを取り上げます。(毎週木曜日掲載)

### 第65回：『会員企業の紹介-1、 次世代型航空機部品供給ネットワーク』

11月10日から当連載で紹介してきた、新連携ネットワークOWO。今回と次回にかけて、正会員企業18社を各社の得意分野や会との関わりを絡めてご紹介する。今回は、役員5社と府外からの参加企業3社。

#### 「OWOの会員状況」

次世代型航空機部品供給ネットワーク（略称：OWO=On the Wings of Osaka 大阪の翼に乗って）には現在、18社の正会員と26社（団体・個人含む）の賛助会員が参加している。

正会員への参加は、正会員として必要なセキュリティシステム等に対応するとともに、既存正会員1名以上の推薦を得て、役員会の承認を得る必要がある。ネットワークへの営業のみを目的とした入会を認めない方針を持ち、自発的な活動意欲を持った会員が集まることで、意義のある活動を目指している。

賛助会員として入会すると、事業活動や研究活動

で得られた情報を受け取ることが出来る。航空機産業の最新情報や技術動向はもちろんのこと、セキュリティ研究会の活動成果報告なども、事業報告会（会員のみ参加可能）などを通じて得ることができる。

賛助会員には製造業だけでなく、航空機関連の研究所や大学の研究機関、素材分野の協会機関なども、情報交換や交流を目的に参加している。

#### 「役員企業5社」

ネットワークの発起人は、現在役員を務める5社が中心である。会長の株式会社田中（大阪市住吉区 <http://www.sdc-tanaka.co.jp>）は、18年かけてボーイング社への単独での部品供給に取り組んできた。チタンおよびステンレスボルト等ねじ部品の開発メーカーである同社は、独自技術である「プラズマ浸炭加工」を製造工程に入れた航空機用チタン合金ボルト（Ti-6Al-4V）を、落雷対策として導電性が必要な炭素繊維強化プラスチック締結用を開発した。自社だけでなく、他社との連携による高付加価値製品の開発や、販路開拓の経験を活かすことによって、さらなる飛躍を目指す。関連会社である株式会社エスディーシー（堺市神南辺町 <http://www.sdc-tanaka.co.jp>）も、監事として参加している。特許技術である「チタンのプラズマ浸炭加工」は、航空



機部品にも使用されるステンレス鋼、ニッケル合金等にも利用でき、耐摩耗性や疲労強度の向上に役に立つ画期的な加工技術である。

三陽鉄工株式会社(大阪市福島区 <http://www.sanyo-tekkou.co.jp/>) は、「超精密機械加工」を武器にエアバス社に部品を供給している。航空機・真空機器・半導体製造装置・減速機・食品機械部品の幅広い分野に、チタン・ニッケル合金・ステンレス・アルミ等の材質で且つ高硬度な素材から難削材まで複合加工機を駆使して、高度で高精度な加工の実現が可能だ。会の副会長も努める同社は、水戸祥登代表取締役が今年7月の「世界ものづくりサミット」の席上でブラジル・エンブラエル社の副社長 SATOSHI YOKOTA氏とジョイント講演を行うなど、航空機産業界から注目を集めている。

薄肉物の汎用旋盤・NC旋盤加工品分野で88年の歴史を誇る中川鉄工株式会社(大阪市城東区 <http://www.nakagawa-iw.com/>) は、「職人的加工技術と最新のNC加工技術の融合」を方針に掲げ、機械加工一筋で取り組んできた。会の副会長とセキュリティ研究会の幹事役を兼務し、新分野の情報収集や異業種との交流に積極的に活動している。

由良産商株式会社(大阪市西区 <http://www.yurasansyo.co.jp/>) は、ねじおよびねじ部品の総合商社である。同社は、7000トンを超す常時在庫を保有し、多くの産業分野にJUST-IN-TIMEに商品を供給している。ISO14001・ISO9001認証企業として、環境にやさしい企業活動と、ZERO-DEFECTの品質志向で、業界に貢献することを目指している。副会長

として会を発展させながら、物流分野から航空機産業界への参入を目指している。

### 「府外からの参加会員3社」

会の活動は大阪を中心としているが、府外からの参加も活発だ。株式会社東京チタニウム(埼玉県さいたま市 <http://www.tokyo-titanium.co.jp/>) は、チタン材全般の切断在庫販売を手掛ける。同社の得意分野は、社名の示す通りチタン材の機械加工、板金加工、溶接加工など。医療製品から船舶まで幅広く対応するが、チタンへの注目度の高まっている航空機産業界への対応をターゲットに、遠方から参加している。

奈良精工株式会社(奈良県桜井市 <http://www.nara-seiko.co.jp/>) は、光学機器製造技術によって培われた豊富な経験と実績による加工技術を基に、チタン・アルミ等の金属精密部品製造を手掛ける。医療機器等のチタン製品を中心としたマシニング5軸制御等の加工実績を活かし、次なる市場開拓の研究に余念が無い。

東レ株式会社(東京都中央区 <http://www.toray.co.jp/>) は様々な面で異色の存在である。言わずと知れた大企業である同社は、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料など取り扱う製品も多岐に渡り、同社が世界最大のメーカーであるPAN系炭素繊維は、航空機の一次構造部材として用いられている。航空機産業界のシェアを獲得済みの同社から、ネットワークが得られるものは大きい。

### 『お問い合わせ先』

次世代型航空機部品供給ネットワーク事務局(帝国データバンク内)

担当:産業調査課 豊川・川上

information@owosaka.jp(電話:06-6443-3855/FAX:06-5455-5496)

入会についての詳しい情報は、Webサイト(<http://www.owosaka.jp/>)をご覧ください。